

事務連絡
令和6年6月21日

公益社団法人日本バス協会 御中
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会 御中
公益社団法人全日本トラック協会 御中

国土交通省物流・自動車局貨物流通事業課
安全政策課
旅客課

低気圧と前線による大雨に備えた体制の確保等について

気象庁によると、梅雨前線が東シナ海から九州を通過して日本の南へのびており、22日(土)は前線の一部が日本海まで北上し、23日(日)には前線上の低気圧が日本海へ進み、前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気の流れ込みが続くため、前線の活動が活発な状態が続く見込みです。

鹿児島県では、21日(金)明け方に線状降水帯が発生し、24時間降水量が400ミリを超えて観測史上1位の値を更新した地点があり、21日は、九州南部のほか、前線に近い関東甲信地方を中心に非常に激しい雨が降り大雨となります。22日は西日本では雷を伴った激しい雨が降って大雨となる所があり、23日には大雨の範囲は東日本まで広がって、24日(月)にかけて前線に近い日本海側を中心に大雨となります。特に石川県能登では、23日から24日にかけて警報級の大雨となる可能性があります。

これにより、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒が、落雷や竜巻などの激しい突風に注意が必要です。

つきましては、傘下会員に対して、下記の点に留意するよう周知方よろしくお願ひします。

記

- ・ 気象状況の把握に努め、輸送の安全確保に万全を期すこと
- ・ 社内における連絡体制を確保すること
- ・ 安全運行が確保できないおそれがある場合は、運休や運行計画の変更などの指示を行うとともに、利用者に対して運休や運行計画の変更などの情報を発信すること
- ・ 車両の退避など出水への事前対応を実施すること